

施政方針の概要

2月26日(火)、平成20年第1回薩摩川内市議会定例会で、森卓朗市長が述べた市政に関する考えや方針の概要を紹介いたします。なお、全文は市ホームページに紹介しています。



4年目を迎えた 新生薩摩川内市

本年は、私が新生薩摩川内市のかじ取りを担うことになりましたから早くも4年目を迎えたところです。この間、第1次薩摩川内市総合計画に基づき、地域力、都市力、市民参画、都市ブランド力、行財政という五つの視点のもとに、合併直後の諸課題を一つ一つ丁寧に解決しながら、将来都市像の実現に全力を傾注してきました。

市長マニフェストの進ちよく状況につきましては、おおむね順調に推移してきていると考えていますが、一方で、経済社会全般や国の地方制度改革、各種制度見直しが進み、その動向などを見渡しますと、本市を取り巻く状況は予断を許さないものがあります。

初心忘れることなく、情熱、決断、創造を信条としながら市民の皆さまの福祉向上と市勢発展のために、なお一層奮励努力する所存です。

本市をめぐる 最近の動きについて

薩摩川内市

土地改良区について
川内市土地改良区を含む6土地改良区の合併予備契約調印式が1月に行われ、本年12月に向け、新しい「薩摩川内市土地改良区」が動き出すこととなります。



土地改良区合併予備調印式
1月9日(水)

この合併により、組合員数約1万1700人、受益面積4460ヘクタールの規模になり、県内でも3番目の大きさになります。今後、土地改良施設の維持管理のみならず、農業農村地域の発展に寄与することが期待されます。

■ 甌島航路について

甌島航路については、航路の現状や市の考えについて、地元の意見をいただく意見交換会を1月末から甌島の9会場で開催しました。

甌島市民の生活や振興に欠かせないこの航路は、経営上大変厳しいものがあり、将来的にも航路の維持および利便性が確保されるよう対処したいと考えています。そのためには、市民の皆さまの理解も不可欠ですので、今後、会場で寄せられました意見などを参考に、熟慮を重ねていきます。

■ 巡回移動連絡車の導入について

窓口サービスに関しまして、下甌地域の地区コミュニティセンターなどを巡回しながら住民票など5種類の証明書をその場で発行できる巡回移動連絡車を全国で初めて導入しました。



巡回移動連絡車に装備されたパソコンやテレビ電話

本庁、支所などにおける窓口業務のサービスの在り方に関し

では、まちづくり意見交換会においても意見をいただいていることから、サービス内容や接遇など、市民の皆さまに満足いただけるよう事務改善に努めていきます。

■ 文化・産業振興の可能性

国の重要無形民俗文化財として東郷文弥節人形浄瑠璃が指定されました。



指定された東郷文弥節人形浄瑠璃
国の重要無形民俗文化財に指定された東郷文弥節人形浄瑠璃

また、京セラ株式会社鹿児島川内工場の第19工場の竣工、株式会社ワイテックとの立地協定締結など、本市の文化振興、産業振興の可能性が広がり、南九州の拠点都市として、また、次世代につなげられるまちづくりが、



京セラ株式会社鹿児島川内工場の新工場(第19工場)

本年度の施策概要

少しずつではありますが、実現しているところです。

第1次薩摩川内市総合計画
上期基本計画に沿って平成20年度の予算案を編成しました。

向こう2カ年を上期基本計画の総仕上げの期間として位置付け、地区振興、子育て支援、地域格差是正、観光交流・ツーリズムの振興など17の戦略テーマを設定したところです。3カ年の初年度となる平成20年度は、さらに六つの重点項目を掲げ、所要の施策を展開していきます。

① 地域の基礎力(そこちから)の引き上げに資する

共生共同の推進

地区コミュニティ協議会が活動資金の調達のために取り組むコミュニティビジネスについて支援を行うほか、少子化対策・子育て支援策では、乳幼児医療費助成を大幅に拡充し、就学前の児童に対する医療費を無料化します。

また、育児不安や負担の解消を図る地域子育て支援センター事業や育児リフレッシュ事業など、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めます。

なお、へき地保育所である里